

億単位ではピンとこない
家計に例えて
例えて
みました！

市の財政を家計に例えると…

市の決算状況を毎月の家計の収支に例えると、次のようになります。
収入は給与や手当などの月収、親からの仕送り、借入れなどの総額で45万4,833円、支出が生活費、ローンの返済、医療費などの総額で44万594円です。収入から支出を差し引いた1万4,239円が財布の中に残っている状況ですが、今月の支払いが終わっていないものが107円あるのでそれを引いた1万4,132円が今月の黒字となります。

※1世帯あたりの平均所得月額45万4,833円（参考：厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」）に志布志市の一般会計予算額に占める各経費の割合を乗じ、一般家庭におけるそれぞれの経費を算出しています。

月収(給料、各種手当など)	211,497円
親からの仕送り	103,247円
ローンの借入れ	35,022円
資産活用、雑収入など	55,944円
預金引出し	39,117円
先月の残り	10,006円

収入合計：45万4,833円

生活費(食費、光熱費など)	159,496円
住宅ローンの返済など	46,262円
家族の医療費など	89,000円
子どもへの仕送り	33,485円
家の増改築、補修など	66,089円
その他雑費	46,262円

支出合計：44万594円

差額：1万4,239円



差額1万4,239円のうち、今月の支払いが終わっていないもの(市の財政では『翌年度へ繰り越すべき財源』に該当する)が107円あるので、それを差し引いた残額1万4,132円を翌月に繰り越します。

市の積立金と借金は？

市では財源不足のときの調整や、将来多額のお金を使うことが発生した時に備えて、積立金(基金)を保有しています。平成28年度は積立額が取崩額を上回ったため、積立金の残高は増加しました。

また、道路や橋の建設・維持補修や、学校や体育施設、防災設備の整備など、多額の費用を必要とする事業を実施する場合などに借入れをします。なお、この借入れの大部分は、国から交付金として補てんされます。

●積立金(基金)の状況は？

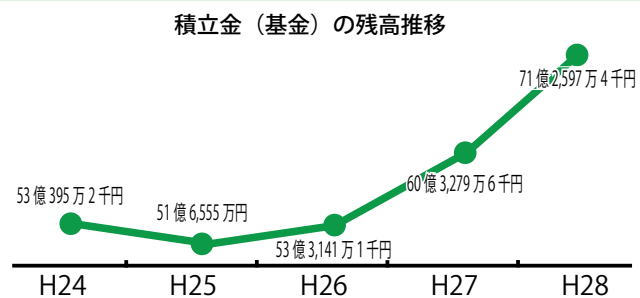
財政調整基金：25億702万5千円

減債基金：3億7,165万円

その他基金：42億4,729万9千円

合計：71億2,597万4千円

(平成29年3月31日現在)



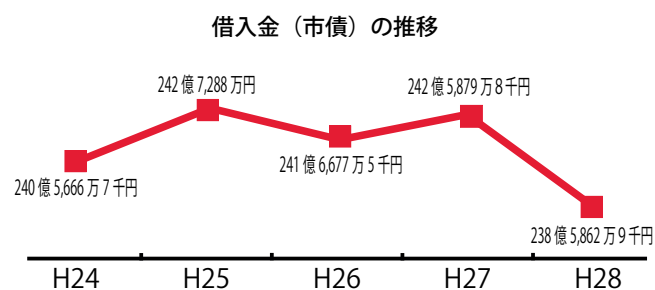
■借入金(市債)の状況は？

残高：238億5,862万9千円

志布志市の人口：32,093人

市民一人当たりの借金：約74万3千円

(平成29年3月31日現在)



歳出(性質別)

人件費	31億1,894万円
公債費	25億6,405万9千円
扶助費	49億1,851万円
普通建設事業費	34億7,231万7千円
物件費	35億7,125万4千円
補助費等	21億994万1千円
積立金	25億3,811万6千円
その他	18億7,232万7千円

義務的経費は人件費、公債費、扶助費で、支出が制度などにより義務付けられているものです。

投資的経費は支出の効果が今年だけまたは短期間でなく、将来に渡って影響するものです。

その他の経費は義務的経費と投資的経費を除く全てのものです。

災害復旧事業費
7,196万6千円

維持補修費
8,465万2千円

※性質別とは：経済的な視点から歳出を分類すること。義務的経費の割合が低いほうが弾力的に財政を運営できます。

性質別に見た歳出の状況
歳出を性質別でまとめると、最も構成比が大きいものは、扶助費の49億1,851万円(20.2%)、次いで物件費の35億7,125万4千円(14.7%)、普通建設事業費の34億7,231万7千円(14.3%)、人件費の31億1,894万円で12.8%の順となっています。

現金以外に市が保有する財産

区分	数量及び現在高
土地	12,530,213.65㎡
建物	206,584.18㎡
山林(立木)	285,623.30㎡
有価証券	255,460千円
出資による権利	108,914千円
債権	520,449千円
物品	車両等191台

現金以外の市の財産
市が保有する財産は、土地や建物といった不動産、有価証券、債権などがあります。またマイクログバスや消防車といった車両等を財産として保有しています。

収益的収入及び支出(単位:千円)

収入	決算額	支出	決算額
営業収益	517,343	営業費用	491,479
営業外収益	89,187	営業外費用	26,978
附帯事業収益	3,600	附帯事業費用	137
特別利益	424	特別損失	126
計	610,554	計	518,720

資本的収入及び支出(単位:千円)

収入	決算額	支出	決算額
企業債	74,000	建設改良費	207,738
出資金	0	企業債償還金	79,668
補助金	10,842	予備費	-
工事負担金	8,377	計	287,406
分担金	0		
計	93,219		

公営企業会計(水道事業)決算
「地方公営企業法」に基づき地方公共団体が実施する事業のうち経営要素が高い事業(水道事業、交通事業など)は、独立かつ民間的手法での会計管理を行っています。これを公営企業会計といいます。

性質別歳出用語の説明

義務的経費

- ①人件費：市長や市議会議員、職員などの給与などに使われたお金。
- ②公債費：市債(市の借入れたお金)の返済に使われたお金。
- ③扶助費：高齢者や子ども、障がい者などの福祉のために直接的に使われたお金。

投資的経費

- ①普通建設事業費：道路や橋、学校施設、体育施設などの建設に使われたお金。
- ②災害復旧事業費：台風などの被害があったものを修復するために使われたお金。

その他の経費

- ①物件費：消耗品などの購入、印刷物に掛かる費用、旅費、業務委託料などのうち、上記に該当しないのに使われたお金。
- ②補助費等：各種団体の公益性の高い事業などに補助したお金。
- ③維持補修費：公共施設や車両など、市の所有物の維持や修理に使ったお金。
- ④積立金：市の貯金へ積立てたり株式会社への出資、財団法人等に対する出資金などに使ったお金。
- ⑤その他：特定の事業のためなどに市が貸した貸付金、国保や介護などの特別会計に出した繰出金、緊急やむを得ない支出で、予算が足りない際に支出する予備費の合計。